

12月の野菜の見通し

令和元年11月30日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	11,773	少ない	12,739	49	184%	80	-	-	千葉県産は台風被害後に蒔き直したものが生育順調で増量へ。神奈川県産は生育順調だが、作付け減。徳島県産は台風の影響なく、平年並みの出荷が見込まれる。 12月の販売は蒔き直した分の入荷が重なりやや軟調になるが、年末にかけては引き合いが高まる見込み。
はくさい	15,439	平年並 み	14,951	38	197%	59	-	-	茨城県産中心の入荷だが、台風と大雨により圃場の状態が良くない。数量は平年並みからやや下回る見込み。品質低下で歩留まりが悪いため、業務用需要次第では例年より高値で推移すると予想される。
キャベツ	14,117	平年並 み	13,692	72	125%	94	-	-	各産地の生育は概ね順調。関東産は台風の影響で定植の遅れが一部あるものの、愛知県産は問題なく、安定的な入荷が続く見込み。相場は横ばいだが、年末には引き合いが強まるか。
ほうれんそ う	1,557	平年並 み	1,525	420	155%	549	-	-	台風、大雨の影響で、この先も大幅な増量はない見込み。高値のため荷動きが良くないが、年末には需要が高まり相場は上げ気配が強まる。
ねぎ	6,049	平年並 み	6,054	293	106%	294	98	1.6%	東北産から関東産に切り替わり、11月よりは全体の入荷量が増えるため、相場は緩やかに下落となる見込み。入荷量は平年並みだが、台風の影響で下位等級の割合が高くなる見込み。年末には需要高まり相場は上昇へ。

12月の野菜の見通し

令和元年11月30日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
きゅうり	3,752	少ない	4,191	556	86%	513	-	-	高知県産は前倒し気味で入荷しているため、12月には減少する時期が出てくる見込み。宮崎県産も1回目のピークが11月で、12月下旬にかけて減少するとみられる。埼玉県、千葉県産は気温が低くなると大きく減少もありえる。相場は保合いで推移、下旬にはやや高まる見込み。
トマト	5,254	平年並み	4,971	377	114%	445	-	-	千葉県、栃木県産は台風被害で入荷量が少ない見込み。熊本県産は小玉傾向で、入荷がやや遅れている。愛知県産も着果はあるものの小玉傾向。12月中下旬にかけて熊本県産が増加し、相場の下げ気配が強まる見込み。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)